

## 第14回全国大会シンポジウム「国際文化交流としてのグローバルツーリズム」ご案内

2015年7月4日（土）、5日（日）の両日、日本国際文化学会第14回全国大会が多摩大学グローバルスタディーズ学部（湘南キャンパス）にて開催されます。大会中に多摩大学 学長寺島実郎による基調講演「観光立国への戦略的視座」を行い、人材育成を司る大学が今後の日本の観光産業の発展にどう関わるかということについて講演し、その内容をふまえて「インバウンド・ツーリズム」についてパネリストをお招きしてシンポジウムを開催致します。

●日時：2015年7月4日（土）15：45－18：00 入場無料（事前にお申込みください）

●場所：多摩大学湘南キャンパス E301（〒252-0805 神奈川県藤沢市円行 802 番地）

アクセス：[http://www.tama.ac.jp/info/guide\\_shonan.html](http://www.tama.ac.jp/info/guide_shonan.html)

●基調講演：「観光立国への戦略的視座」多摩大学学長 寺島実郎氏

2014年の訪日外客数が1341万人となり、前年比で3割増となっている。その大半を占めるアジア、大中華圏との相関、アジアダイナミズムの重要性をどのように捉えるか。観光立国として、3000万人の訪日外客数を目指す日本は、どのようにして観光の“質”を上げ、観光立国と向き合うのか。真の観光産業・観光立国の実現に向けた構想力が問われる。



1947年北海道生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了後、三井物産入社。米国勤務等を経て

1999年三井物産戦略研究所所長、2009年同会長。また2001年一般財団法人日本総合研究所理事長、2006年同会長、2010年同理事長。現在、文部科学省 日中韓大学間交流・連携推進会議委員、同省 グローバル人材育成推進事業プログラム委員会委員、同省 大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業プログラム委員会委員、経済産業省 資源エネルギー庁総合資源エネルギー調査会総合部会委員、国土交通省 首都圏広域地方計画有識者懇談会委員等兼任。1994年石橋湛山賞受賞。2010年4月早稲田大学名誉博士学位。

主著書『若き日本の肖像―一九〇〇年、欧州への旅』（新潮社）、『リベラル再生の基軸―脳力のレッスンⅣ』（岩波書店）、『（寺島実郎監修）全47都道府県幸福度ランキング2014年版』（東洋経済新報社）、『何のために働くのか―自分を創る生き方』（文春新書）、『世界を知る力』（PHP出版）、他多数。

また、BS11『報道ライブ21 InsideOUT 「現代ビジネス講座」世界を知る力』MCとして出演中。

●パネルディスカッション：「インバウンド・ツーリズムの可能性と課題をめぐって」

「インバウンド・ツーリズムの現状をどう改革できるのか、専門分野または業界としての光と影を検証しながら今後の展望を探る。これまで、日本でのホスピタリティ精神は他国と比較して優れてと言われてきたが本当にそうなのかについて検証する。

### パネラー紹介

●江上 いずみ氏（Global Manner Springs代表、筑波大学客員教授）

1984年、慶應義塾大学法学部卒。日本航空に入社。客室乗務員（国内線、国際線）として多数の社内表彰を受賞。新人・後進教育にあたり、JAL機内アナウンスも指導。2013年に退社後、筑波大学・大学院で「グローバルマナー概論」「おもてなし学」を講義。東京オリンピック教育推進校への研修「おもてなしの心」を開始する。日本経済新聞社主催セミナーや読売新聞社主催フォーラム等に登壇。



●鳥飼 玖美子氏（日本国際文化学会員、順天堂大学特任教授/国際教養学部アドバイザー、元・観光政策審議会委員、前・国土交通省交通政策審議会観光部会委員、コンGRESS・コンベンション・ビューロー前会長）

- 高井 典子氏（文教大学国際学部国際観光学科准教授）
- 太田 哲氏（多摩大学グローバルスタディーズ学部准教授）

モデレーター：齋藤 理（日本国際文化学会会員、山口県立大学国際文化学部准教授）

- お問い合わせ/お申込み先：日本国際文化学会第14回実行委員会 多摩大学 湘南キャンパス  
Tel：0466-82-4141 Fax：0466-82-5070  
e-mail：jsics@gr.tama.ac.jp

\*全国大会の共通論題発表、自由論題発表についても、ぜひご参加ください。

6月25日（土）までにお申し込みの場合、参加費の事前割引があります。当日参加でも構いません。

\*お詫び：ニューズレター第30号に掲載したパネラー氏名「高井規子」氏は誤記で、正しくは「高井典子」氏となります。訂正してお詫びいたします。